



はしもと いぶき  
橋本 一吹さん(右:国士館中学校1年生)

「第52回全国道場少年剣道大会」小学生の部 準優勝ほか

はしもと いっしゅう  
橋本 唯秀さん(左:新町小学校6年生)

「第53回全国道場少年剣道大会」小学生の部 優勝ほか



鶴ヶ島市「2人ボウ大好きっ!」  
応援エンブレム  
© 鶴ヶ島市



## 小さな剣士たち、 大舞台で頂点目指す

### お父さんとの約束

「やるなら日本一を目指せ」  
2人が剣道を始めるとき、お父さんから言われた言葉です。一吹さんは5歳のころ、お父さんに憧れて剣道を始め、唯秀さんもそれに続き、剣道を始めました。しかし、練習は過酷で、泣きながら練習する日々。「剣道をやめたいなと思ったときもある」という唯秀さん。しかしお父さんとの約束を胸に必死に練

習を続け、一吹さんは「第52回全国道場少年剣道大会」で準優勝、唯秀さんは「第53回全国道場少年剣道大会」で優勝に輝きました。

### 優勝したい

「全国道場少年剣道大会」は日本武道館で開催される、1年の中で重要な大会です。観衆が見守る中、唯秀さんは緊張に押しつぶされることなく、自分の剣道を行うことが出来ました。「いつもは緊張したりするけれど、あの時はワクワクした。優勝したいという気持ちのほうが強かった」と振り返りました。

### チームのために

「唯秀はこの一年で我慢を覚えた」とお母さん。唯秀さんは、一吹さんの得意技「面」で一本を取ることが憧れで、ずっと練習してきました。しかし試合では封印。唯秀さんの得意技の「返し胴」を武器に確実に一本をとる方向に決まりました。唯秀さんは「自分のやりたい剣道ではなく、チームの勝ちを一番に考えるようになった」といいます。

### 家族の支え

2人の生活ベースは剣道。竹刀を握らない日はほとんどなく、剣道をやっていないと不思議な気持ちになるよう。「剣道なしの生活が想像できないな」と唯秀さん。2人がこんなにも剣道に打ち込めるのは、「両親の力があってこそ。試合はビデオで撮影し、家族で反省会。遠征では京都や仙台まで行くことも。日々の「両親の協力に」いつも支えてくれてありがとうございます」「剣道ができて幸せです」と2人は感謝をしています。

将来の目標は「全日本選手権」で優勝すること。決勝戦の兄弟対決を楽しみにしています！



### 編集後記

特集の取材でお伺いした「バンバンクラブ」で、アイマスク体験をさせていただくことに。マスクをした途端に数メートル先にあった段差が、どのくらい先だったか分からない状態に。一歩足を踏み出すのが恐怖となりました。ベテランガイドさんに伴歩していただいたところ、一瞬で恐怖が消え、いつの間にか走っていました。ご意見・ご感想は秘書広報課広報広聴担当へ  
✉10200001@city.tsurugashima.lg.jp



“ママ大好きだよ～”  
たくちりゅうせい  
田口琉聖ちゃん(3か月)



### 笑顔の天使



“おもちゃ大好き☆”  
いのまた  
猪股みのりちゃん(1歳6か月)